

ISO方式の構造

■新・ISO方式とJIS方式の比較

項目	新・ISO方式	JIS方式
ボルト本数 22.5インチホイール 19.5インチホイール	10本 8本	8本 8本
ボルトサイズ ねじの方向	M22 左右輪:右ねじ ^(※2)	前輪M24 後輪M20、M30 右輪:右ねじ 左輪:左ねじ
P.C.D. ^(※1) 22.5インチホイール 19.5インチホイール	335mm 275mm	285mm 285mm
ホイールナット (使用ソケット)	平面座 座金(ワッシャー)付きツープース・1種類 (33mm)	球面座 ワンピース・6種類 (41mm/21mm)
ダブルタイヤ	一つのナットで共締め	インナー、アウターナットそれぞれで締付け
ホイールのセンタリング	ハブインロー	ホイール球面座
アルミホイール履き替え	ボルト交換	ボルトおよびナット交換
締付けトルク	550~600 N・m (55~60 kg f・m) ^(※3)	550~600 N・m (55~60 kg f・m)
断面図(例)		
後輪ダブルタイヤの 取付け構造		

※1:P.C.D.とは、Pitch Circle Diameterの略で、ボルト穴の中心を結んでできた円の直径のことです。(右図)

※2:従来のISO方式車の一部は、左車輪に左ねじを使用します。

※3:輸入車やトレーラー、従来のISO方式車などは、車種によって締付けトルクなどが異なります。

取扱説明書や整備のマニュアルなどで確認してください。

留意点

ISO方式ホイールの点検・整備には、33mmサイズのソケットなど新たな工具が必要になる他、ナットランナーの反力受けなど、JIS方式用の工具の一部に変更が必要となる場合があります。

ホイールからタイヤを脱着する場合の注意点

・エアバルブの取出し位置とバルブの形状が従来ホイールと異なりますので、適切なエアバルブを使用してください。

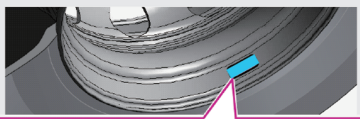
・リムのバルブ位置に、ハンブ(出っ張り)があります。また、19.5インチのスチールホイールでは、リムからタイヤを脱着する方向が従来と反対になりますので注意してください。

ポイント

ISO方式のディスクホイールを、必ず使用してください。ISO方式用のホイールには、ISO方式を示す識別表示がありますので確認してください。

誤ってJIS方式ホイールを装着すると、十分な締付け力が得られず、ホイール亀裂や車輪脱落事故の原因となります。

ホイール識別表示例
《青色ラベル》



<スチールホイールの場合>

ISO方式(平面座)ホイール
Hub Piloted Mounting Wheel
追加塗装禁止
DO NOT apply additional paint

<アルミホイールの場合>

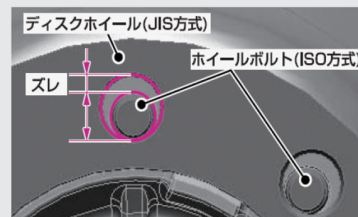
ISO方式(平面座)ホイール
Hub Piloted Mounting Wheel
アルミ用ボルト使用(AL)
Only use Stud for Aluminum Wheel

※新・ISO方式ホイール装着車から。

ホイール誤組の例
《ISO方式にJIS方式8穴
ホイールを誤組した例》

要注意!!

ボルトに対してホイール穴が合わず、
ホイールナットで適切に締付けことが
できません



※ISO方式8穴のホイールには、P.C.D275mmを示す「275」の刻印があります。

